

市議団ニュース

11月議会始まる

日本共産党議員団提出の意見書です

出された議案

- ◆一般会計補正予算 2億4000万円
- ◆国民健康保険会計補正予算 254万円
- ◆介護保険補正予算 ※「債務負担行為」
(高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定)
- ◆下水道事業会計補正予算 6億3540万円
(高利息の借金の繰り上げ償還費分の借換債)
- ◆放課後児童クラブ条例の一部を改正する条例
- ◆久喜市立幼稚園保育料等検討委員会条例
- ◆久喜市企業誘致条例
- ◆指定管理者の指定について・・・4件4議案
- ◆路線の廃止について など

提案された市民生活関連の議案です

「彩のかがやき等」品質不良に 対する農家支援を求める意見書

☆本年夏の猛暑に見舞われた彩の輝きなど県内、市内の米作りは大きな打撃を受けました。それらの被害に対して米作農家への「特段の援助」や「販売の促進」を求める内容になっています。



埼玉県米ブランド品「彩のかがやき」 みんなの声が届き、支援決まる！

夏の猛暑により、埼玉県のブランド米「彩のかがやき」が高温障害を受け大打撃を受けました。た。久喜市全体で438haの作付け面積で、旧久喜市130.9ha、菖蒲289.8ha、栗橋3.5ha、鷲宮5.7haと菖蒲地域は60%を占めています。727名の方3億円以上の被害です。この災害に県と市は特別災害の指定を行い、被害を受けた農家の方に助成することが決まりました。市民の皆さんに召し上がっていただくことが、生産者の支援につながり励みになります。久喜市の学校給食でも、12月から来年の10月まで使用します。市の職員のみなさんでも1トンを購入するなど支援しています。皆さんの応援をお願いします。



TPP交渉への参加方針 撤回を求める意見書

民主・菅政権は、アメリカなど農産物輸出大国の加盟しているTPP(環太平洋戦略的経済連携協定)への参加をする方針を決めました。しかし、関税がなくなれば農産物や食肉、乳製品などが日本国内に押し寄せて、国内生産が成り立たなくなる恐れがあります。

「国保の広域化」に反対する意見書

国はこの間、国民健康保険制度を市町村から切り離す計画を進めてきました。それは国保会計に一般会計から繰り入れていた財源を出さないようにする仕組みづくりになるといわれています。もし、そうなると医療にかかる人が増えるほど国保税が上がることになり「高い国保税」⇓「払えない」⇓「病院に行かない、行けない」という「悪循環」を固定化してしまいます。

文教常任委員会

木村奉憲議員

文教常任委員会では11月1日～2日に、①長野県松本市のアレルギー対応給食、地産地消給食について、②長野県駒ヶ根市の公共図書館指定管理制度について視察調査しました。①については、アレルギー対応食140食を独立した調理室で、専属の栄養士、調理師で実施。地産地消も米など100%松本産で、郷土食などで創意工夫しています。②は、文化会館、博物館、女性ふれあい館など複合施設の中で、市の全額出資の文化財団に指定管理者制度を導入。図書館の役割、意義、職員体制、蔵書購入などの点で、問題や難しい面があります。



松本市の給食センター前で



機能的に本が配置された図書館

石田利春議員

総務財政市民常任委員会

合併して5年経った「たつの市」ですが総合支所には二つの課があるだけ。久喜市の今後が懸念されます。



庁舎の前での委員の皆さん

総務財政市民常任委員会では11月10～12日に、兵庫県たつの市へ「合併後の街づくり」を視察。一市三町が合併、5年が経過した市です。組織の効率化を推進。各支所合計で28課が今6課となっています。情報化、地域交通のアクセス向上が図られて来たとし、本庁方式移行を目指しています。サービスの低下など懸念され、私の評価は問題があると感じました。大阪府の池田市においては、「地域分権」を進めており、市内11小学校区に地域内の課題抽出・解決を検討する「地域コミュニティ推進協議会」を設立し、課題実現に向けた事業に対する予算提案をし(約600万円)、推進しています。防犯灯など安心安全の街づくりに市民の目線が活かされており、参考になりました。



池田市の市役所内で説明を受ける久喜市議会の委員。左端が石田議員